



# Adobe Creative Cloud

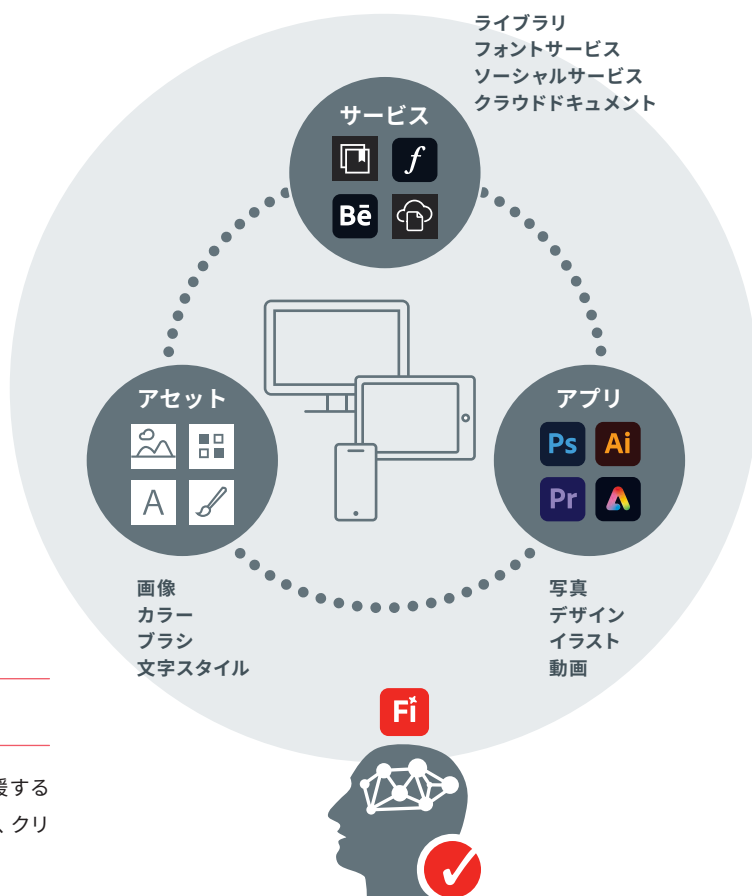
## すべての人に「つくる力」を

Creativity for all.

Creative Cloudは、写真、デザイン、動画、イラスト、SNSコンテンツなど、あらゆる制作に対応するアプリを常に最新の状態でご利用いただけるサブスクリプション型のクリエイティブ環境です。さらに、豊富なフォントやストック素材、クラウドを利用したコラボレーション機能など、多彩なサービスも利用可能。最新リリースでは、Adobe Fireflyの生成AI技術を活用した新機能も続々搭載。Creative Cloudがあれば、いつでも、どこでも、誰とでも、想像の赴くままに制作を進めることができます。

### クリエイターのための生成AI技術、Adobe Firefly

アドビでは、生成AIは人間の創造性の代替えではなく、創造性を支援するツールであると考えます。アドビの生成AI技術であるAdobe Fireflyは、クリエイターの生産性を向上させることを第一の目的に開発されています。



## Creative Cloud 法人版ならではのメリット

業界最高峰のクリエイティブツールに加え、効率的な共同作業のためのコラボレーションツール、簡単なライセンス管理のためのAdmin Console、エキスパートによる高度なサポートなど、個人版にはない法人向けならではの機能やサービスが含まれています。ライセンスや制作物の権利は会社に帰属するため、データ管理上のリスクも軽減できます。また、利用中のすべてのプランをひとつの契約にまとめることができ、請求書払いにも対応しています。

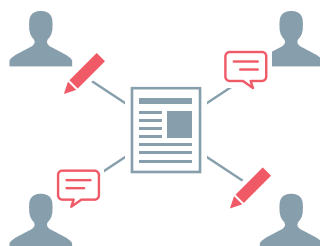
### 会社の資産保護を強化

個人版の場合、ライセンスや制作物の権利などは個人に帰属しますが、法人版であれば、これらの権利は会社に帰属するため、資産を強固に保護できます。



### チームの作業を効率化

チーム全体でアセットを簡単に共有したり、デザインのプレビューを共有してコメントを取得したり、リアルタイムで共同編集したりできます。



### 組織での管理を強化

webベースのAdmin Consoleからライセンスの購入や割り当て、チーム用ストレージの管理と追加、サポートの利用などを一元的におこなえます。





Content  
Authenticity  
Initiative

# オンラインコンテンツの信頼性と 透明性を高める取り組み

コンテンツ認証イニシアチブ  
Content Authenticity Initiative (CAI)

デジタルコンテンツの信頼性と透明性を高めることを目的にアドビが設立、運営する「コンテンツ認証イニシアチブ(CAI)」とその活動についてご紹介します。

## CAIとは？

「誤報や偽情報に対抗すること」を目的として2019年に設立された連合コミュニティです。生成AI技術の広がりに伴いフェイク画像等の増加が指摘されるなかで、誤った画像を報道を始め業務や日常生活において使用したり拡散したりすることがない社会を目指しています。

メディア、テクノロジー、ハードウェア、市民社会組織など各分野の主要な企業や個人が参画しています。

## CAIのアプローチ：

### 「来歴」情報の記録

CAIの重要なアプローチとして挙げられるのが、「来歴」情報の記録です。「来歴」とは、画像、映像、音声、文書などのデジタルコンテンツの出所に關する、信頼できる基本的な事実のこと。CAIでは、規格標準化団体であるC2PAで決定した規格を使用して来歴情報の記録を行っています。C2PAはLinux Foundation所属の標準化段階で、NHK技研やSONYも参画しているもので、その技術はオープンソースとして提供されています。

CAIについて詳細は <https://contentauthenticity.org/>

\* コンテンツ認証情報は右記のverifyツールで確認することができます。 <https://contentcredentials.org/verify>

55か国以上から3,000を超えるメンバーが参画



## 法人企業向け Creative Cloud 導入事例

Creative Cloudを導入し、クリエイティブに対するリテラシーやコラボレーション能力を高め、様々なデバイスを自由に使い分けながら高品質なクリエイティブを生み出し、多数の業界の課題解決に活用されています。

<p>▼ 広告</p> <p>担当者によるブランドコンテンツ作成で、市場投入までの時間を短縮</p>	<p>▼ 外食</p> <p>人材教育用の動画コンテンツを、撮影から編集まで完全内製化</p>	<p>▼ 小売</p> <p>スモールスタートから短期間で動画内製を本格化</p>	<p>▼ 金融</p> <p>Adobe Creative Cloudが内製によるブランディング構築を支援</p>
<p>▼ 製造</p> <p>スポーツシューズの開発工程をバーチャル化。3Dデータをマーケティングに活用</p>	<p>▼ メディアエンターテインメント</p> <p>リスクリングでファン拡大を目指し、メディア展開を内製化</p>	<p>▼ 自治体</p> <p>Lightroom &amp; Photoshopで町とひとの“想い”が伝わる写真に仕上げる</p>	<p>▼ 販売</p> <p>ブランド価値と自由闊達な制作環境を支えるCreative Cloud Proエディション</p>

最新のCreative Cloud 導入事例はこちら <https://www.adobe.com/jp/creativecloud/teams/showcase.html>  
<https://blog.adobe.com/jp/>



# Creative Cloudの製品内容

※プランによってご利用いただけるツールやサービスが異なります。  
 S 単体プランでもご提供しております。

## 主なサービス

制作を支援する各種サービスや機能に、必要なときにいつでもアクセスできます。



### Creative Cloud ライブラリ

共有可能なクラウド上の素材置き場



### Adobe Fonts

高品質なフォントが無制限に使い放題



### Behance

クリエイター向けソーシャルサービス



### Creative Cloud デスクトップ

Creative Cloud各アプリやサービスのHub



### Adobe Portfolio

ポートフォリオサイトを簡単に公開



### Adobe Express

テンプレートを使って手軽にデザイン



## 主なモバイルアプリ

デスクトップアプリと連携するモバイルアプリを活用して、いつでもどこでもクリエイティブな作業を開始、継続できます。



### Adobe Photoshop モバイル版

高度な画像編集もiPhoneやiPadで思いのままに



### Adobe Illustrator iPad版

どこにいても自由にデザインを作成



### Adobe Capture

撮影した画像をすばやく素材に変換



### Adobe Lightroom モバイル版

撮った写真をその場で編集、共有



### Adobe Fresco

あらゆるタッチのイラストを作成



### Adobe Aero (iOS版)

AR (拡張現実) 体験を作成、共有



### Adobe Photoshop Express

モバイル写真編集のオールインワン



### Adobe Express

テンプレートを使って手軽にデザイン



## 主なデスクトップアプリ

PhotoshopやIllustratorをはじめ、サブスクリプションで順次新機能が追加される最新のデスクトップアプリをいつでもダウンロードして使用できます。



### Adobe Photoshop S

写真のレタッチもコラージュも思いのまま。高機能で使いやすい画像編集ツール



### Adobe Illustrator S

ロゴやイラストの作成からポスターのデザインまで。グラフィックツールの決定版



### Adobe InDesign S

印刷およびデジタルメディア向けの高品質なページデザインとレイアウトを作成



### Adobe Acrobat Pro DC \*1

高品質なPDFの作成から編集、注釈、電子署名までをいつでもどこからでも



### Adobe Animate S (旧 Flash Professional CC)

ゲーム、TV番組、web広告など多彩な用途のアニメーションを作成、配信



### Adobe Premiere Pro S

SNS動画から映画まで、あらゆる用途の映像を制作できる動画編集ツールの定番



### Adobe After Effects S

テキストやグラフィックのアニメーション化や映画のような特殊効果を作成



### Adobe Audition S

ビデオ、放送、ポッドキャスト向けのオーディオを作成、編集、ミキシング



### Adobe Photoshop Lightroom S

デスクトップでもモバイルでも。どこにいても思い通りの写真を作成、共有



### Adobe Photoshop Lightroom Classic \*2

より細かい写真の編集に特化したフォトグラファー向けデスクトップツール



### Adobe Character Animator

自分の顔の表情や体の動きを使って2Dキャラクターをアニメーション化



### Adobe InCopy S

デザイナーが作成中のドキュメント上で、ライターと編集者が安全に共同編集



### Adobe Bridge

写真、ビデオ、その他のデザイン素材を1箇所でプレビュー、整理、検索

\*1 単体製品 (サブスクリプション版) でのPro、Standardの購入も可能です \*2 Lightroom 単体プランにも含まれます

## 別売り製品



### Adobe Stock\*

高品質なロイヤリティフリー素材



### Adobe Substance 3D Collection

初心者からエキスパートまで使える、最先端の3D制作環境



### Adobe Captivate

マルチデバイス対応の  
eラーニングオーサリングツール



### Technical Communication Suite

5つの高性能ツールを、市場をリードするスイートに統合



### Frame.io (ETLAのみ)

クラウドベースの  
ビデオ共同作業ソリューション

\* Creative Cloud製品に加え、Adobe Stockの通常アセット (写真・イラスト・ベクター・テンプレート・通常3D) が使い放題のプランもございます。

## Creative Cloud ライブラリ

アプリ間、ユーザー間、デバイス間で共有できるクラウド上の素材置き場

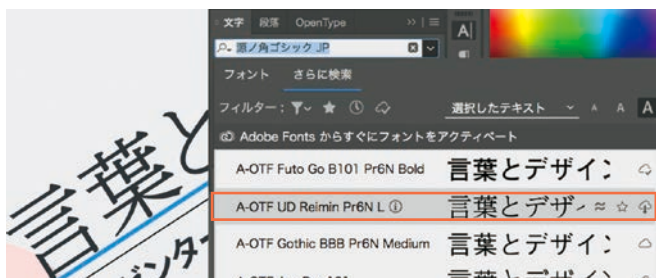
Creative Cloud ライブラリは、クラウド上に用意された「素材置き場」です。写真、グラフィック、ブラシ、カラーテーマ、文字スタイルなどの素材をこのライブラリに保存しておくことで、様々なアプリからいつでも簡単に利用できます。ライブラリは複数のアプリ間やデバイス間、チームメンバー間で共有できるため、プロジェクト全体で一貫性のあるデザインを常に最新の状態で維持できます。



## Adobe Fonts

印刷、web、動画などで使用できる高品質なフォントが無制限に使い放題

日本語フォントを含む30,000以上の高品質なフォントをCreative Cloud アプリ内から検索およびアクティベートし、無制限に使用できます。



## クラウドドキュメント

制作ファイルの保存、管理、編集、共同作業が可能なクラウド対応のファイル

互換性のあるアプリ\*で制作中のファイルをクラウドに自動保存し、どこにいても、最新のファイルにアクセスして編集や共同作業を行えます。

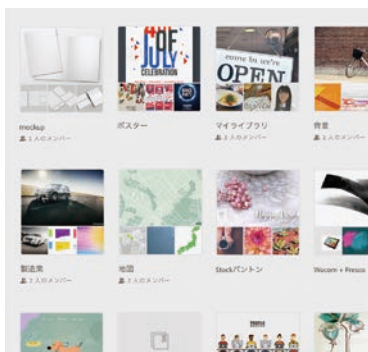


### 共同作業を効率化する、法人向けならではのツール&サービス

#### チームライブラリ

##### ブランドの一貫性を確保

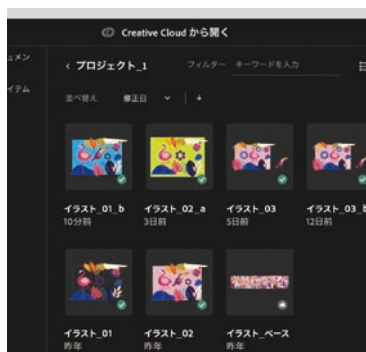
チーム専用のライブラリを作成し、共有することで、メンバー全員がいつでも最新のファイルにアクセスできます。必要なユーザーにだけ編集権限を付与することが可能です。



#### 180日間のバージョン履歴

##### いつでもファイルを復元

クラウドドキュメントの過去180日間のバージョン履歴を閲覧でき、必要なバージョンを呼び出して使用できます。重要なバージョンは無期限に保存することも可能です。



#### コメント用に作品を共有

##### フィードバックをすばやく収集

お使いのCreative Cloudアプリから直接デザインファイルを共有し、フィードバックの内容をリアルタイムで確認できるため、変更箇所をすばやく反映できます。



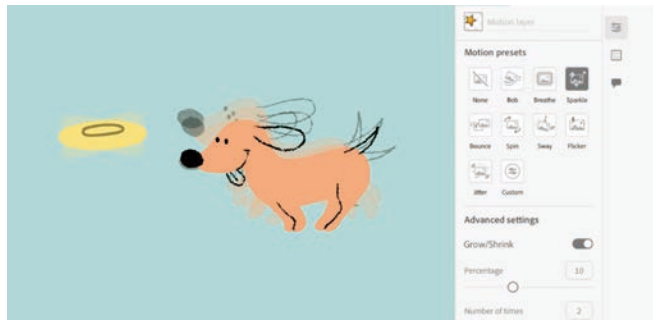
## Fr Adobe Fresco

絵画調からデジタルアートまで、あらゆるタッチで描けるイラスト作成アプリ

油彩画、水彩画、ファインアート、アニメなど、まるで本物の画材を扱うような感覚で、あらゆるタッチのイラストを1つのキャンバス内に自由に表現することができます。また、モーションプリセットを使用して、描いたイラストを簡単にアニメーション化することも可能です。



iPadに加え、iPhone、Windows搭載デバイスでもご利用いただけます。作成した作品は自動的にクラウドに保存され、デスクトップ版およびモバイル版のPhotoshopからもシームレスにアクセスできます。

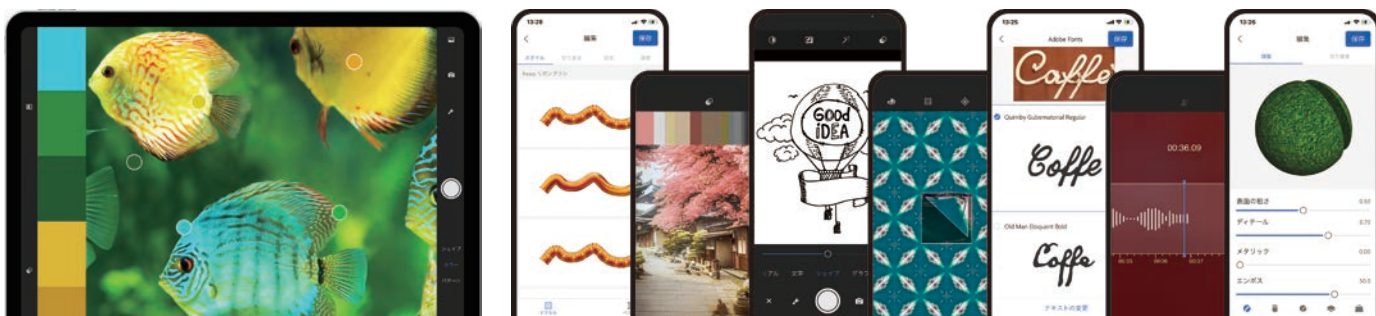


ワンタップで適用できるモーションプリセットを使って、描画を揺らしたり、跳ねさせたり、回転させたりと、様々な動きを加えることができます。(iPad版のみ)

## Ca Adobe Capture

撮影した画像からすばやくシェイプやブラシ、カラー、パターンなどを作成

スマホで撮影した写真から、カラーやグラデーション、ベクターシェイプ、ブラシ、パターン、3Dマテリアル、文字スタイルなどの素材を簡単に作成し、他のアプリで活用できます。マイクを使用して、効果音や音声を録音することも可能です。



## Ar Adobe Aero

2Dや3Dの素材からプログラミングなしでAR (拡張現実) 体験を作成、共有

PhotoshopやIllustratorなどの画像を読み込んで、現実世界に重ね合わせた没入感のあるAR体験をプログラミングなしで作成、公開できます。



## Ps Adobe Photoshop Express

写真の編集と共有に必要なあらゆる機能が揃ったオールインワンモバイルアプリ

写真のレタッチや切り抜き、コラージュの作成、エフェクトの追加など、画面をタップするだけで簡単に加工できる写真編集アプリです。





## Ps Adobe Photoshop

写真のレタッチもコラージュも思いのまま。高機能で使いやすい画像編集ツール

### 生成塗りつぶし

「生成塗りつぶし」は、プロンプト入力だけで簡単に画像のコンテンツを追加したり、置き換えたりできます。最新のAdobe Firefly Image Modelが搭載され、驚くほどリアルな作品に仕上げることができます。



### 生成拡張

「生成拡張」を使用すると、既存の画像に自然に溶け込むように、新しく生成されたコンテンツで空いたスペースを埋めて拡張できます。画像のリサイズの作業時間が大幅に短縮されます。



### 類似を生成

生成塗りつぶしなどで生成された画像のバリエーションから最も適した画像を選択し、その画像にもとづいてさらに新しいバリエーションを繰り返し生成できます。



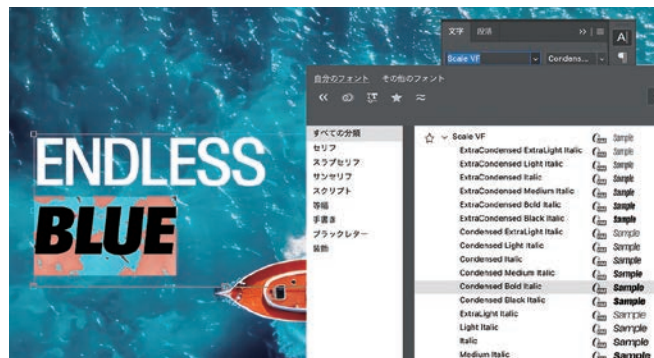
### 背景を生成

メインの被写体の背景をワンクリックで削除し、プロンプト入力から元画像の照明、影、遠近感などに合わせた新しい背景画像をすばやく生成できます。



### バリエーションフォントの利用

1つのフォントファイルに複数のフォントスタイルを保存できるバリエーションフォントを、フォントブラウザーから検索し、好みのスタイルを適用できます。



### 削除ツールの新しい操作

人物や電線など不要な要素全体をブラシで塗りつぶして削除するほか、不要な要素の周りにループを描画して削除することもできます。

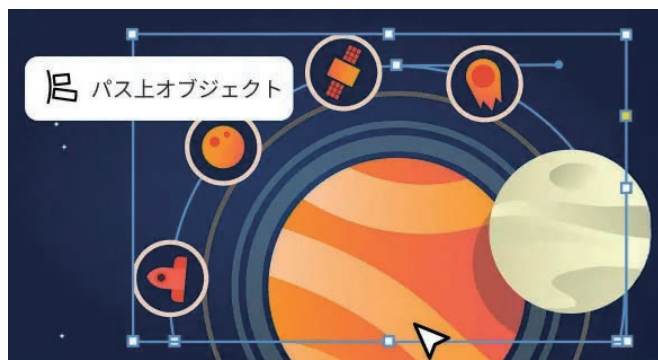


## Ai Adobe Illustrator

ロゴやイラストの作成からポスターのデザインまで。グラフィックツールの決定版

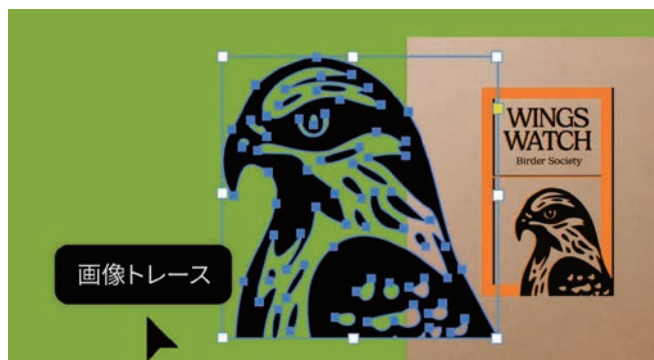
### パス上オブジェクト

複数のオブジェクトを直線や曲線のパスに沿って等間隔で自動配置できます。配置後は、オブジェクトの並びを保ったまま、パスの形状や個々のオブジェクトの位置およびサイズを変更することができます。



### 画像トレースの強化

ラスター画像を鮮明なベクターにすばやく変換できます。これまでで最も高速で高性能な画像トレースを使用することで、アンカーポイントが少なく編集しやすい結果が得られます。



### 生成塗りつぶし (シェイプ) (Beta)

最新のAdobe Firefly VectorModelを搭載した「生成塗りつぶし (シェイプ)」を使えば、選択したシェイプやテキストのアウトラインに合わせて、イメージどおりのベクターアートワークを生成することができます。



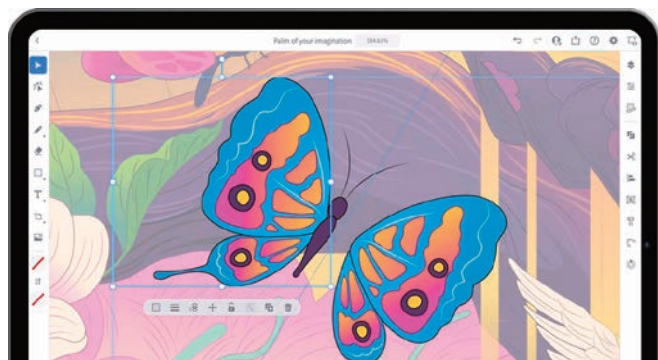
### より詳細に制御できるベクターグラフィックの作成

「テキストからベクター生成」では、プロンプトの提案をオンまたはオフにしたり、設定をクリアにしたりできます。また、背景レイヤーを生成せずに被写体やアイコンなどのアートを作成できるようになりました。



### Illustrator iPad版

ペンツール、シェイプツール、ブラシ、グラデーション、リピートなどIllustratorの基本的な機能を備えているだけでなく、Apple Pencilとタッチによる新しい方法で精度の高いベクターグラフィックを作成できます。



### Ne Adobe Project Neo (Beta)

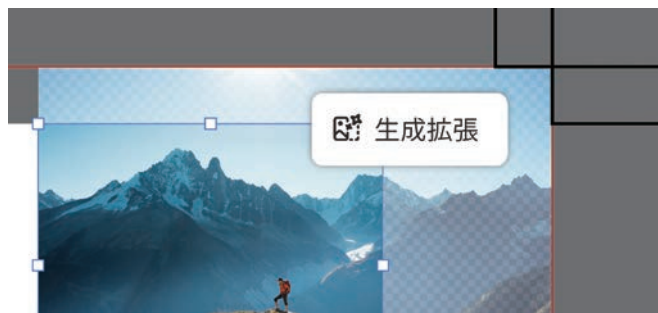
3Dアートワークをブラウザ上で直感的に作成できるProject Neo (ベータ)。Neoで作成した3D画像をベクターとしてエクスポートし、Illustratorのデザインに容易に統合することができます。





### 生成拡張

InDesignのAI機能「生成拡張」を使えば、レイアウトに配置した画像のサイズが小さかった場合、画像を無理に拡大することなく、画像の足りない領域を新たな画像で塗りたして拡張することができます。



### InDesignドキュメントをAdobe Expressに書き出し

ワンクリックでInDesignからAdobe Expressにファイルを書き出せます。レイアウトの要素をロックしてからチームと共有し、すばやく編集したり、簡単なバリエーションを作成したりできます。



### テキストの検索と置換

「検索と置換」機能を使用して、キャンペーン、プレゼンテーション、ドキュメントのページ間で、単語やフレーズをすばやく検索し、別のテキストに一括して置き換えることができます。



### 翻訳

ファイル、テンプレート、PDFを46の言語にすばやく翻訳できます。フォーマルまたはインフォーマルなトーンを選択でき、生成AI機能を使用してメッセージの意図を損なわないように翻訳します。



### 生成AI削除による写真内の不要箇所の削除

「生成AI削除」を使用すると、写真から不要なオブジェクトや問題点を簡単に消去できます。「オブジェクトを検出」オプションの機能が向上し、より正確なオブジェクトの削除を実現します。



### デジタルアセットの保護

「Content Credentials」を使って写真の所有権を確保できます。自分の名前やソーシャルメディアのハンドル、編集内容のリストを、書き出されるJPEGにデジタル署名を介して簡単に添付できます。



## Pr Adobe Premiere Pro

SNS動画から映画まで、あらゆる用途の映像を制作できる動画編集ツールの定番

### 生成拡張（ベータ）

生成AIを使用して、クリップの先頭または末尾にフレームをシームレスに追加します。これにより、映像の尺が足りない場合でも、完璧なタイミングで編集したり、トランジションをカバーしたりすることができます。



### 文字起こしベースの編集を強化

音声データから自動で文字起こしされたテキストを使って、タイムラインへのクリップの配置、並べ替え、トリミングなどの編集が可能。不適切な一時停止や不要なつなぎの言葉も一括削除できます。



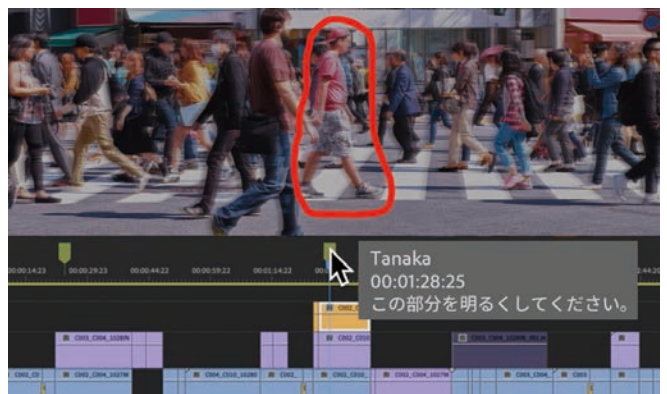
### キャプションを翻訳（ベータ）

Premiere Proで生成されたキャプション、またはインポートされたSRTファイルのキャプションを複数の言語に同時に翻訳し、ローカライズされたコンテンツを世界中にすばやく届けることができます。



### Frame.ioを活用した共同作業

Premiere Proからプロジェクトをすばやくアップロードし、関係者からリアルタイムでフィードバックや承認をもらったり、他のユーザーと共同で編集を行ったり、撮影素材を直接転送してもらうことも可能です。



## Ae Adobe After Effects

テキストやグラフィックのアニメーション化や映画のような特殊効果を作成

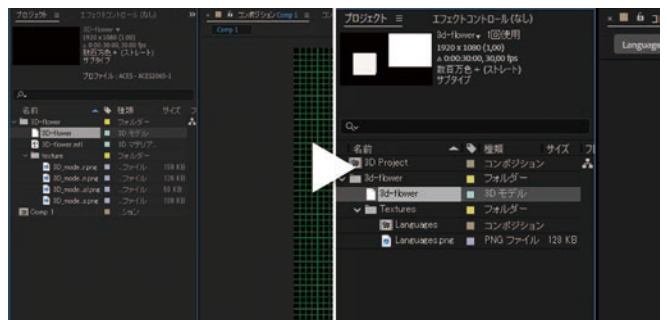
### 更新されたモダンなデザイン

モダンで一貫性のある新しいデザインを採用しました。2つのダークモード、1つのライトモード、1つのハイコントラストのアクセシビリティモードにより、好みに合わせてルックアンドフィールをカスタマイズできます。



### 整理された3Dモデルの読み込み

3Dモデルを読み込んだ際に、プロジェクトパネルにはメインモデルファイルのみが表示され、モデルに必要な依存ファイルと関連ファイルは表示されないため、ファイルの識別、管理、操作が簡単になりました。





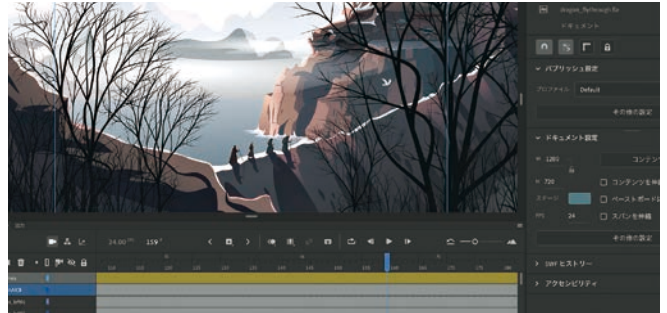
## Ch Adobe Character Animator

カメラで表情や話し声をその場で認識して2Dキャラクターをアニメーション化  
体を使ってキャラクターアニメーションをライブで実行します。ボディトラッカーでは、webカメラを使用して人体の動きを自動的に検出し、それをキャラクターにリアルタイムで適用してアニメーションを作成します。



## An Adobe Animate

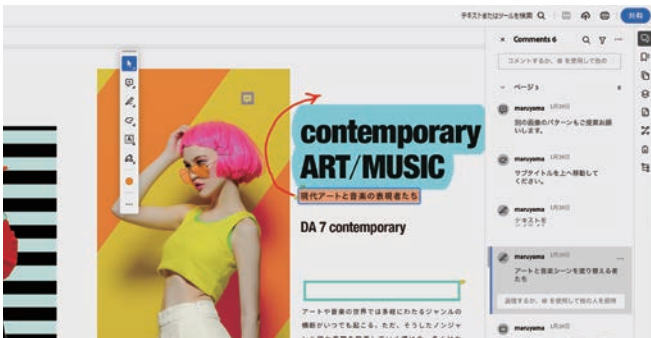
ゲーム、TV番組、web広告など多彩な用途のアニメーションを作成、配信  
ゲーム、TV番組、Web向けのインタラクティブなアニメーションを制作し、ビデオ、アニメーションGIF、HTML5 Canvas形式にすばやくパブリッシュしたり、TwitterやYouTubeなどで共有したりできます。



## Adobe Acrobat Pro DC サブスクリプション版

高品質なPDFの作成から編集、注釈、電子署名までをいつでもどこからでも

デバイスを問わず複数の関係者とリアルタイムでドキュメントのレビューが行えるほか、PDFを直接編集したり、スキャンしたドキュメントからテキストを抽出したり、PDFをWordやPowerPointの形式に書き出して再利用したりできます。



デスクトップでもモバイルでも、PDF内のテキストを打ち換えたり、画像を追加・削除するといった編集が可能。作成元のファイルに戻る必要はありません。



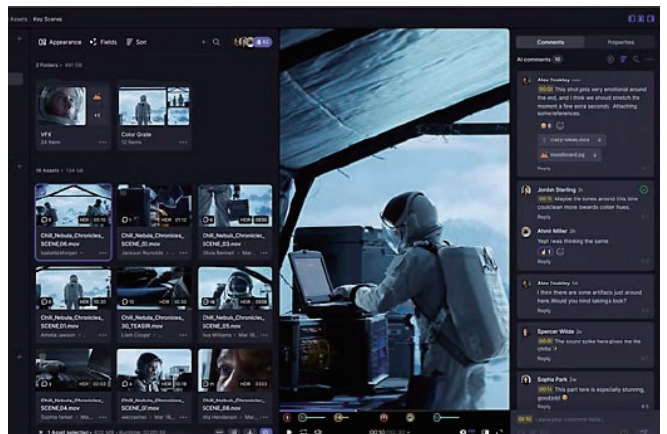
AIアシスタント機能は、長文のPDF文書をAIが要約し、ユーザーからの質問に対して適切な回答を提示します。これにより、文書の要点を迅速に把握できます。

## Frame.io | レビューと共同作業のワークフローを改善

Frame.ioは、どこにいてもビデオや写真などのメディアを高速でアップロードし、チーム全体で共有およびレビューができる共同作業ツールです。クリップに直接コメントまたは描画したり、バージョンを並べて比較したり、これらすべての機能が直感的で強力なwebベースのソリューションに組み込まれています。

### Frame.ioエンタープライズプランの主な内容

- 最大15人のチームメンバーと共同作業
- 無制限のプロジェクト
- ストレージ容量のカスタマイズが可能
- カメラから撮影素材をFrame.ioに即座に送信





# St Adobe Stock

## 数億点ものロイヤリティフリー素材を、Creative Cloudですぐに活用

Adobe Stockは、Creative Cloudとネイティブで連携する唯一のストックフォトサービスです。写真、イラスト、ビデオ、オーディオ、3Dやテンプレートなど、数億点にのぼる高品質なロイヤリティフリー素材に、Creative Cloudの主要アプリから直接アクセス<sup>\*1</sup>して、検索や試用、購入が可能です。商用利用<sup>\*2</sup>も可能なので、印刷物やWebページ、映像コンテンツなどのプロジェクトですぐに活用できます。



\*1 CCライブラリの活用 \*2 商用利用はAdobe Stockの利用条件に基づく範囲になります。利用許諾の詳細は右記をご参照ください。 [http://www.adobe.com/go/stockterms\\_jp](http://www.adobe.com/go/stockterms_jp)



### ユーザー数は無制限

追加料金なしで、1つのAdobe Stockサブスクリプション/クレジットプランを契約した1法人全員で利用できます。

\* 通常アセットには、写真、イラスト、通常3Dやテンプレートが含まれます。



### ライセンス取得履歴

Admin Consoleで、購入した素材、購入者、グループ全体のライセンス取得履歴や購入可能点数などが一目でわかります。



### 企業向けのライセンス

完成させたコンテンツをクライアントへ購入時の使用許諾条件に基づき、同一条件を前提に譲渡することも可能です。  
※自社利用の権利がなくなります。

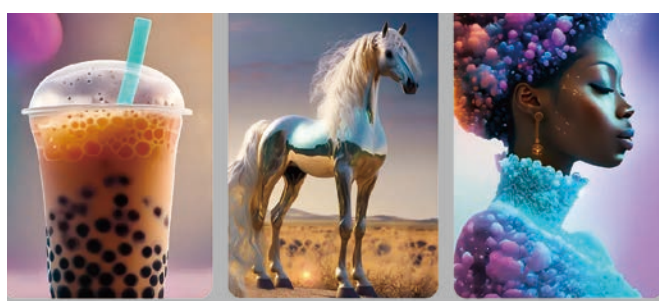
## 進化し続ける Adobe Stock



### Creative Cloudとの連携で効率アップ

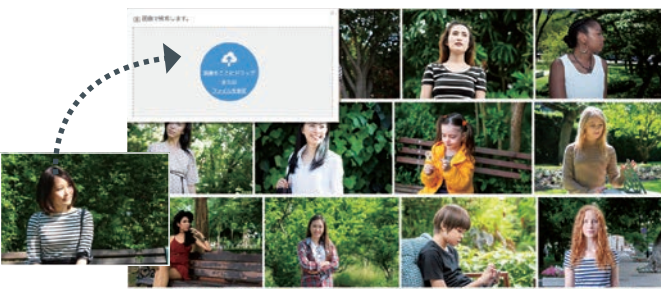
Photoshopなどのアプリ内から直接\*画像を検索、購入できます。また、透かし入りのプレビュー画像でおこなった編集作業は、ライセンス取得後に自動的に高解像度画像に差し変わるため、再編集の必要はありません。

\*CCライブラリの活用



### 生成AIで素材の利用をさらに拡大

素材を探すだけでなく、自ら生成する機能を追加。Adobe Fireflyの生成AI技術を活用した「テキストから画像生成」と「生成拡張」の機能をAdobe Stockのサイト内で利用することが可能です。



### AIによるスマートな検索

手持ちの写真やAdobe Stock内の画像から似た画像を探せる「ビジュアルサーチ」、被写界深度や人物、カラー、コピースペースで検索条件を絞り込めるフィルターなど、AI技術を活用した高度な検索機能を搭載しています。



### Microsoft Office 製品やGoogle Slidesとも連携

Adobe Stockアドイン（無償）により、Microsoft PowerPointやWordおよびGoogle Slidesから直接Adobe Stockの素材を検索、配置、購入することが可能。プレゼン資料や企画書の作成にも活用できます。

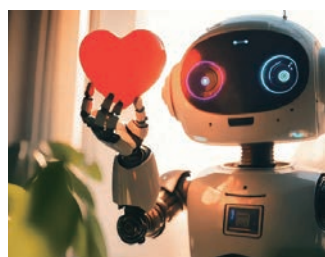
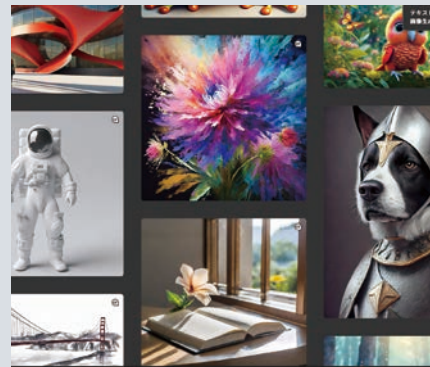
## Adobe Stock コントリビュータープログラム

Adobe Stockのコントリビューター（投稿者）になることで、自身で撮影および作成した作品をAdobe Stockを通じて販売することができます。  
詳しくはこちら ▶ <https://contributor.stock.adobe.com/jp/>

# Fi Adobe Firefly

## 生成AIで、組織のクリエイティビティと生産性が飛躍的に向上

アドビの生成AIテクノロジーであるAdobe Fireflyを使用すれば、簡単なテキスト入力ですぐに新たな画像を生成したり、オブジェクトの追加や削除、置き換えなどをおこなえます。安全に商用利用できるように設計されているため、手軽に安心して生成AIを導入し、組織全体のクリエイティビティと生産性を向上させることができます。Fireflyの生成AI機能は、Photoshop、Illustrator、Adobe Expressなどの各アプリにも組み込まれており、ワークフローの中で効率的にご利用いただけます。



### 動画生成 (Beta)

テキストからビデオを生成したり、クリップの足りない部分を補ったり、静止画像に動きを追加できます。



### テキストから画像生成

自分がイメージする画像の説明をテキスト入力すると、生成AIがイメージに合ったオリジナルの画像を生成します。



### 生成塗りつぶし

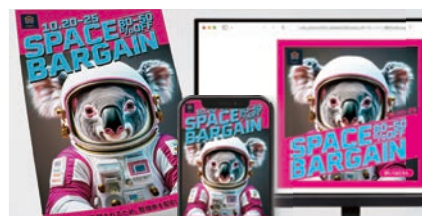
既存の画像の選択範囲に新たなオブジェクトを生成したり、別の画像で置き換えたり、不要なものを消去できます。



### テキスト効果

テキストに対して指示に沿ったスタイルやテクスチャを適用し、グラフィカルなタイトルやロゴを生成できます。

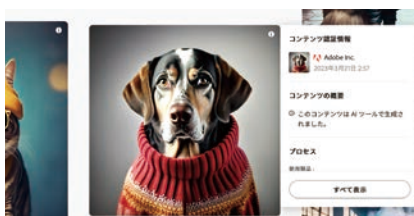
## コンプライアンスを担保する安全設計



### 安全な商用利用のための設計

Fireflyは、Adobe Stockのアセットや、著作権の切れた一般コンテンツのみを学習させており、知的財産権の侵害となるアウトプットを生成しないよう設計されています。

生成AIと著作権? 5分で分かるAdobe Fireflyの安全な商用利用のための設計  
<https://blog.adobe.com/jp/publish/2024/11/21/cc-firefly-designed-to-be-commercially-safe-animated>



### コンテンツの信頼性

生成AIが使用されたことを示すコンテンツ認証タグを追加する機能の開発など、CAI (コンテンツ認証イニシアチブ) \*などを通じて生成AIの責任ある使用のための業界標準の確立に取り組んでいます。 \* <https://contentauthenticity.org/>

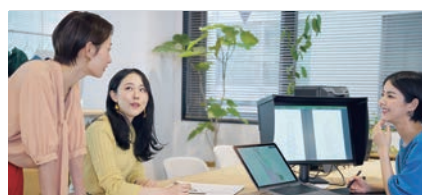


### 知的財産権 (IP) の補償

特定のプラン\*においては、Fireflyを利用して生成されたアウトプットに対して契約上の知的財産権 (IP) の補償を受けることができます。

\* Creative Cloud Pro エディション / エディション 4 および、Adobe Stock サブスクリプション、クレジットパック、包括契約 (ETLA) のプラン

## 組織全体の創造性と生産性を向上



### 制作チームに生成AIのパワーを

Fireflyの生成AI機能はPhotoshopやIllustratorなどにも組み込まれており、これまで時間と手間のかかっていた編集作業も大幅に効率アップします。



### あらゆる部門で内製化を加速

生成AI機能をAdobe Expressの中で活用することで、マーケティング、営業、人事などの部門でも簡単に高品質なコンテンツを制作できるようになります。



### ブランドの一貫性を確保

自社のガイドラインを加味したカスタムモデルを導入することで、チーム全体で容易に一貫性のあるブランドイメージを生成できるようになります。



# Creative Cloud グループ版 Proエディション

デザインのクオリティと作業効率がさらにアップ

Creative Cloudグループ版 Proエディションは、グループ版の全ての機能とサービスに加え、Adobe Stockの通常アセット\*を無制限にご使用いただける法人向けのプランです。Adobe Fireflyの生成AI機能も利用可能で、他のプランに比べてより多くの生成クレジットが付与されます。また、ライセンス管理や更新作業、コンプライアンスチェックといった管理者の負担も大幅に軽減できます。



\* 通常アセットには、写真・イラスト・ベクター・テンプレート・通常3Dがございます。



利用点数の上限を気にすることなく  
無制限にダウンロード



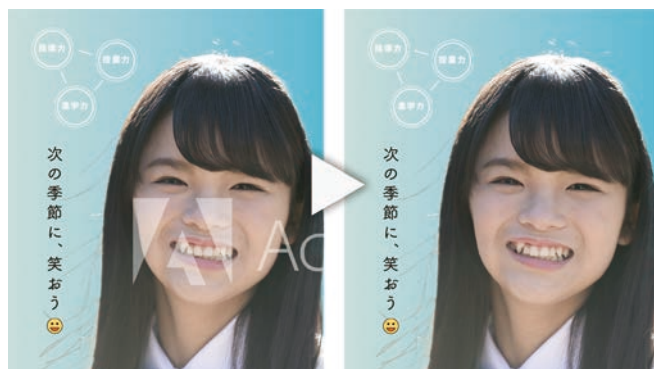
通常アセットを無制限に印刷/コピーできる  
強化ライセンスが付属



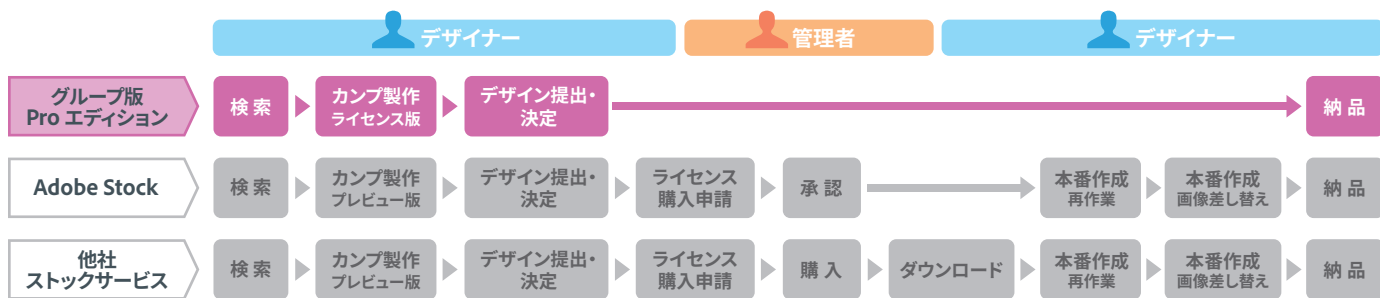
Creative CloudからProエディションへの切り替えがスムーズ

## 6億点以上の高品質な素材が無制限に使い放題

写真、イラスト、ベクター、3D、テンプレートなど、6億点以上におよぶAdobe Stockの高品質な素材をご利用いただけます。素材は無制限にダウンロードできるため、カンパ作成時から透かしのない高解像度画像を使用してクライアントに見せることができます。管理者に対してライセンス購入申請、本番画像への差し替えが不要になるため、制作における大幅な時間短縮につながります。



制作におけるワークフローの大幅な時間短縮が可能に



## 利用範囲が広く、安心して使える『強化ライセンス』

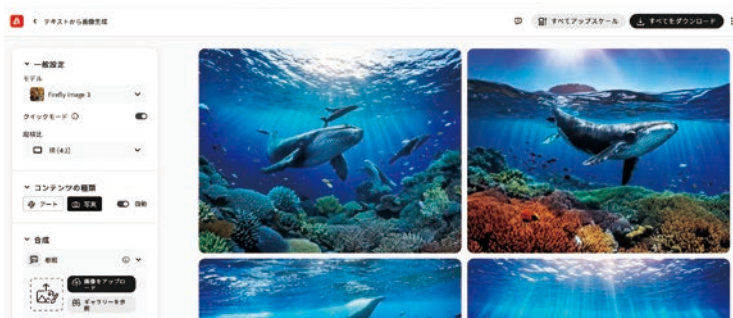
Adobe Stockの素材は全て商用利用可能なロイヤリティフリー。「強化ライセンス」となるため、Web閲覧数や印刷部数、コピー数の上限を気にせずご利用いただけます。また、制作者および被写体の人物からの使用許諾を得ているため、広告、プロモーション、販促、プレゼンテーションなど幅広い用途において安心してご利用いただけます。





## より多くのAdobe Firefly 生成クレジットを利用可能

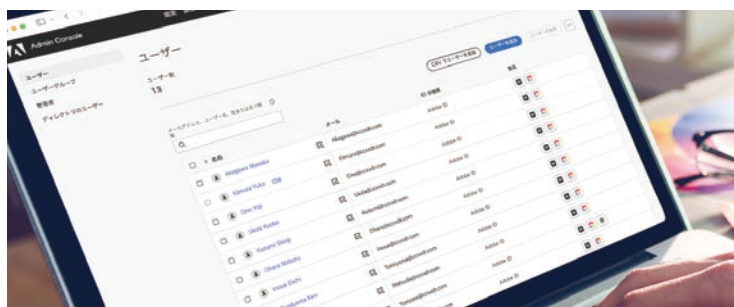
Adobe Fireflyの生成機能を利用する場合には、各プランに付属の生成クレジットが必要です。グループ版 Proエディションは、他のCreative Cloudプランよりも多くの生成クレジットが付与されるため、日々の制作においてAdobe Fireflyの生成AI機能を存分に活用することができます。



プラン	付与クレジット数 (ユーザー1ヶ月あたりの数)	
	コンプリートプラン	単体プラン
Creative Cloud個人版	1000	25 ~ 500
Creative Cloud グループ版	1000	500
Creative Cloud グループ版 Pro エディション	3000	700

## 1つのプラン、1つのAdmin Consoleで手間なく管理

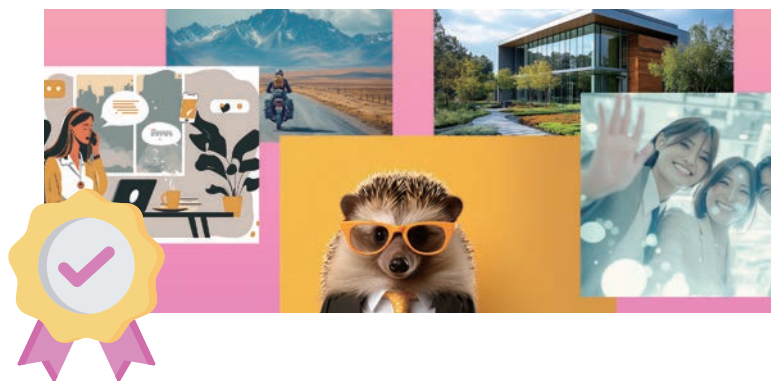
Creative Cloudグループ版 Proエディションは、Creative CloudとAdobe Stock全てのライセンスを単一のAdmin Consoleで一元管理できます。また、Adobe Stockアセットのライセンス購入履歴をレポートとして入手できるため、ユーザーの利用状況をより可視化して管理することができます。



## 安心のIP補償が付属 - Adobe FireflyとAdobe StockのIP補償 -

企業の懸念に対応するため、Fireflyワークフローで生成されたコンテンツに対するIP補償が、Creative Cloudグループ版 Proエディションにも付属し、IP補償の対象となるFireflyで生成された出力物に関する第三者のIPクレームからお客様を保護します。

また、ProエディションでライセンスされるAdobe Stockのアセットには、利用条件内でのご利用に関わらず、第三者からの権利侵害のクレームからお客様を保護するIP補償が適用されます。さらに、Adobe Stockの無料素材カテゴリーのアセットも、Proエディションでライセンスされた場合のみ補償されます。



## 諸条件

- Creative Cloudグループ版の通常のプランとCreative Cloud Proエディションの混在は不可となります。全てのCreative CloudライセンスをProエディションでご利用いただく必要がございます。
- Creative Cloudグループ版 コンプリートプランとCreative Cloudグループ版 単体プランの両方が対象です。
- 契約期間中、対象のアセットが強化ライセンスで無制限にご利用いただけます。
- 企業及び官公庁のお客様が対象です。
- Creative Cloud Proエディションで提供するアセット (素材) をクライアント向けの制作物で使用することは利用規約で制限されており、制作会社 (デザイン会社・印刷会社など) のお客様はご利用いただけません。対象となる業種のお客様はCreative Cloud グループ版ProエディションとAdobe Stockのサブスクリプションまたは、クレジットバックを合わせてご契約いただき、クライアント向けにはAdobe Stockのプランをご利用ください。

# Creative Cloudエンタープライズ版 エディション4



Creative Cloudエンタープライズ版は、中～大規模の組織や部門でのご利用に最適なライセンスプランです。エンタープライズレベルの強固なセキュリティ、専用ツールによるライセンスの一元管理とデプロイメント、スペシャリストによる充実したサポート、そして、他社クラウドサービスとのログイン認証環境統合に対応するシングルサインオンも使用可能です。また、Adobe Stockの通常画像を拡張ライセンスで無制限に利用することができます。

※エンタープライズ版のCreative Cloud製品はエディション4のみでの提供となります。

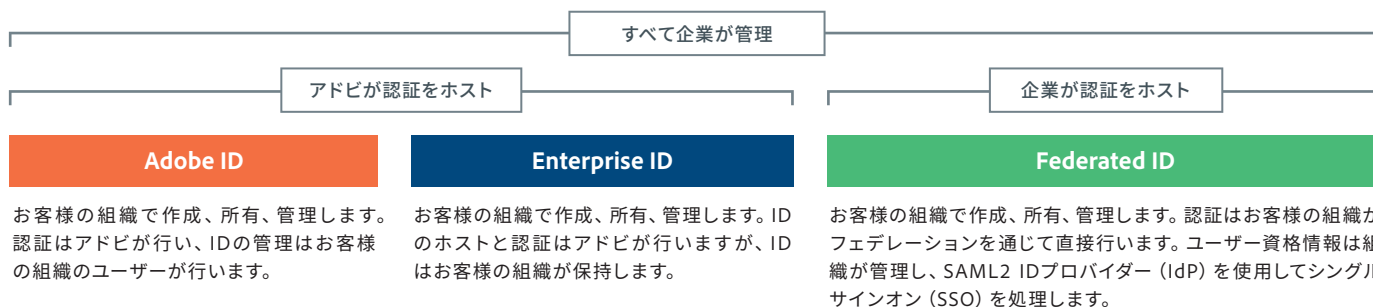
## ▼ 強固なセキュリティによりコンテンツを安全に保護

Creative Cloudエンタープライズ版では、アドビが提供するマルチテナント環境においても、ストレージ内のすべてのクリエイティブアセットを専用暗号化キーで暗号化し、安全に管理、共有することができます。

また、企業のニーズに応じてID認証方式を選択することが可能。Adobe ID、Enterprise IDに加え、Federated ID/SSO (シングルサインオン) を使用することで、IPの保護を強化できます。



## ● 企業向けIDの利用



IDタイプの比較	Adobe ID (アドビ ID)	Enterprise ID (エンタープライズ ID)	Federated ID (フェデレーテッド ID)
用途	企業向け	企業向け	SSOを利用している企業向け
認証システム	アドビが提供	アドビが提供	組織のIdentity Provider (IdP) を利用 (SAML 2.0を利用したフェデレーション)
IDの所属先	組織 (会社、学校、団体など)	組織 (会社、学校、団体など)	組織 (会社、学校、団体など)
多要素認証	二重認証	二重認証	IdPにより実現
ログインの制限	×	×	IdPにより実現
ストレージの暗号化キー	専用	専用	専用
管理者によるIDの削除	○	○	○
メールアドレスの限定	×	○	○
ログファイル	○	○	○ * 詳細なログの取得はIdPにより実現可能

## ▼ エンタープライズレベルの専用サポート

電話、チャット、フォーラムによる通常のテクニカルサポートに加え、エンタープライズ版では、導入計画やライセンス管理、デプロイメントを支援する専用のエンタープライズサポートとエキスパートサービスを提供します。エキスパートサービスとは、アドビのエキスパートによるサポートセッション (内容はメニューから選択) を回数に制限なく利用できるサービスです。

※ETLA契約では、通常サポートに関してはAdmin Consoleからお問い合わせいただけます。

## ▼ 効率的なライセンス管理とデプロイメント

企業の管理者は、エンタープライズ版Admin Consoleを使用して、ユーザーとライセンスを一元管理することができます。ライセンスの追加、割り当て、付け替えなどを簡単にできるだけでなく、購入履歴や利用状況を常に把握できるため、コンプライアンスを担保できます。また、アプリをユーザーが各自ダウンロードして使用することも、管理者が様々なOSや言語のアプリをパッケージ化し、企業全体またはグループ毎に一括してデプロイすることも可能です。



## ▼ 管理者の階層化

エンタープライズ版では、製品のアクセス権を詳細に管理できる柔軟な管理階層を定義できます。最上位に位置するシステム管理者は、全体的なコントロールを保持しながら、他の管理者に管理を委任することができます。そのため、自分の所属する部門だけのユーザー管理を行うユーザーグループ管理者を設定するなど、管理負荷を分散させることが可能になります。



## ▼ VIPまたはETLAで、企業のニーズに対応

### ● VIP – ニーズが変化するグループや組織に

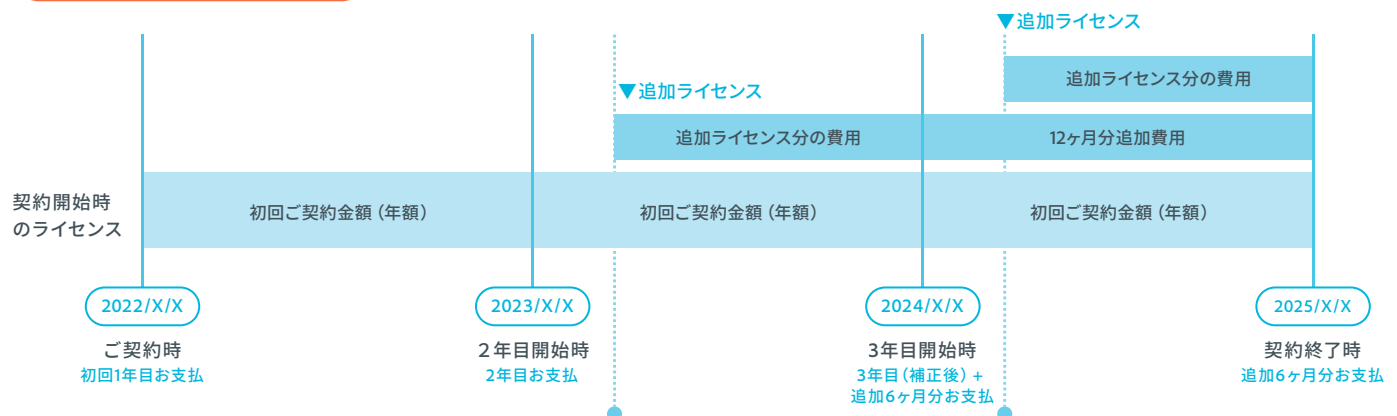
VIPは、12ヶ月から最長36ヶ月まで、企業のニーズに合わせて契約期間を選択できるサブスクリプションライセンス契約です。初回購入時にご希望の導入期間および契約応当日（更新日）を設定いただき、一括前払いでご購入いただけます。途中でライセンスを追加しても、初めに設定した契約応当日までの残り期間分をお支払いいただき、すべてのライセンスを同じ契約応当日に揃えることができます。

### ● ETLA – 大規模ユーザーを一元管理したい組織に

ETLAは、大規模な組織に最適な3年間のアドビ包括ライセンス契約です。年単位の支払いであるため予算が立てやすく、組織の規模の拡大に応じてライセンスを追加し、年1回の契約応当日（更新日）に補正することができます。ETLAは、導入する製品や契約内容を企業のニーズに合わせてカスタマイズすることが可能。また、Adobe StockやDocument Cloudなどアドビのあらゆるソリューションを1つの契約に含めることができます。

#### ETLA契約の導入例

- 利用数増加分は翌年の応当日にお支払いいただけます



Creative Cloud エンタープライズ版について詳しい情報は ▶ [www.adobe.com/go/cce\\_jp](http://www.adobe.com/go/cce_jp)



# 法人企業向け Creative Cloud プラン一覧

対象	Creative Cloud グループ版		Creative Cloud エンタープライズ版			
	導入規模	小中規模	中～大規模法人・ 部門レベル		エンタープライズレベルの 機能を必要とする法人、 部門、および大規模組織	
プラン	コンプリート プラン	単体プラン	コンプリート プラン	単体プラン	コンプリート プラン	単体プラン
ライセンスプログラム	VIP、VIP MP、Adobe.com		VIP、VIP MP		ETLA	
契約期間	1年または複数年*1 の期間選択 (VIPのみ)		1年または複数年*1 の期間選択		3年	
契約当日の選択	○		○			
			応当日に対する費用：月次		応当日に対する費用：年次	
最小ライセンス数	1ライセンス		1ライセンス		詳しくは営業にご確認ください	
ライセンスの所有権	企業		企業			
ボリュームディスカウント	○		○		詳しくは営業にご相談ください	
ライセンス管理	グループ版 Admin Console		エンタープライズ版 Admin Console			
SSO (Single Sign On) での ライセンス管理対応	—		○ (Federated IDで管理する場合)			
ID/データの所有	Adobe ID/ユーザー所有		Adobe ID/ユーザー所有、Enterprise ID/組織所有、 Federated ID (SSO=シングルサインオン対応)/組織所有			
IT向けデプロメントツールの提供	○		○			
デスクトップアプリケーション	CCすべて	選択した 単体製品のみ	CCすべて	選択した 単体製品のみ	CCすべて	選択した 単体製品のみ
ストレージ容量 / 製品*2	1TB		1TB			
 Adobe Fonts フォントライブラリ	○		○			
 Creative Cloud ライブラリ アセット管理・共有	○		○			
 Adobe Stock ストックフォトサービス	Proエディションは通常アセットが 使い放題/別売りプランあり		エディション4は通常アセットが使い放題/別売りプランあり			
他のアドビソリューションとの連携	Adobe Stock グループ版		Adobe Stock エンタープライズ版、 Adobe Experience Cloud、Adobe Document Cloud			
エキスパートサービス *3	1ライセンス につき年間2回	—	無制限			
カスタマーサポート	プレミアムサポート*4		エンタープライズサポート*5			

\*1 企業向け：13～36ヶ月、官公庁向け：13～48ヶ月 \*2 Photoshop Lightroom 単体プラン（ストレージ付き）の容量は1TB

\*3 アドビ製品エキスパートによる1対1のサポートセッション \*4 電話、チャット、フォーラムでのテクニカルサポート

\*5 導入時の説明会およびデプロイメント支援、システム管理者向けサポート、優先的なテクニカルサポート

ETLAには専属の担当がアサインされる有償サポートプランもございます

# 問い合わせ一覧

## アドビ サポート コミュニティ

<https://community.adobe.com/t5/jp/ct-p/jp>

アドビ サポート コミュニティはどなたでも閲覧・参加できるオープンコミュニティサイトです。お客様ご自身でトラブルの解決方法を調べたり、問題のディスカッションに参加したり (Adobe IDでのログインが必要) することができます。製品知識が豊富なサポートアドバイザーもお客様の問題解決のお手伝いをしています。

## アドビサポート

<https://helpx.adobe.com/jp/support.html>

上記URLにアクセスいただき、サポートをご利用ください。

## Webサイト

ライセンスプログラム	<a href="http://www.adobe.com/jp/howtobuy/buying-programs.html">www.adobe.com/jp/howtobuy/buying-programs.html</a>
VIPに関するリソース	<a href="http://www.adobe.com/go/vip_program_guide_jp">www.adobe.com/go/vip_program_guide_jp</a>
企業向け	<a href="http://www.adobe.com/go/cct">www.adobe.com/go/cct</a>
教育機関向け	<a href="http://www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/education.html">www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/education.html</a>
官公庁向け	<a href="http://www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/government.html">www.adobe.com/jp/creativecloud/buy/government.html</a>
販売店一覧	<a href="http://www.adobe.com/jp/joc/elicensing/">www.adobe.com/jp/joc/elicensing/</a>
Adobe Stockの詳しい情報はこちら	<a href="http://www.adobe.com/go/cc_stock">http://www.adobe.com/go/cc_stock</a>
<b>アドビ生成AI / Adobe Firefly</b>	
生成クレジットについてのよくある質問はこちら	<a href="https://helpx.adobe.com/jp/firefly/using/generative-credits-faq.html">https://helpx.adobe.com/jp/firefly/using/generative-credits-faq.html</a>
Adobe Fireflyの詳しい情報はこちら	<a href="http://www.adobe.com/go/adobe-gen-ai-addl-terms_jp">http://www.adobe.com/go/adobe-gen-ai-addl-terms_jp</a>
アドビ生成AIユーザーガイドラインはこちら	<a href="https://www.adobe.com/jp/legal/licenses-terms/adobe-gen-ai-user-guidelines.html">https://www.adobe.com/jp/legal/licenses-terms/adobe-gen-ai-user-guidelines.html</a>
FireflyのIP補償についてはこちら	<a href="https://helpx.adobe.com/jp/legal/product-descriptions/adobe-firefly.html">https://helpx.adobe.com/jp/legal/product-descriptions/adobe-firefly.html</a>

Adobe Creative Cloud に関してお客様からよくあるご質問 (FAQ) は ▶ [www.adobe.com/jp/products/creativecloud/faq.html](http://www.adobe.com/jp/products/creativecloud/faq.html)

# アドビ VIPはVIP Marketplaceに生まれ変わります



一般企業向けVIP（バリューインセンティブプラン）は**2025年5月31日に終了します**\*1

VIP Marketplaceとは既存のVIP（バリューインセンティブプラン）をベースとした自動更新型の新たな購入プログラムで、法人でご利用いただくお客様に最適なプランです。ライセンス管理を容易にする管理ツール（Admin Console）や、予算サイクルに合わせた複数年契約、お得なボリュームディスカウントなど、個人版にはない多くのメリットをご利用いただけます。

※利用プログラムの可否やスケジュールに関しましては既存のお取引先へご確認ください。

## ▼ VIP Marketplaceへの移行にあたる重要期日

2024年12月2日	VIP	一般企業向け新規お客様受け付け終了日
2025年5月31日	既存VIP	一般企業向けお客様プログラム終了日

※2025年5月31日以降、一般企業向けのお客様はVIPプログラムでの追加、更新オーダーの受注が終了いたします。必ず期日までにVIP Marketplaceへ移行を完了してください。オペレーションは、パートナーによって異なる場合がございます。※VIP Marketplaceへ移行できない非対象製品をお持ちの方は2025年6月以降の対応は各販売店に個別にご確認ください。

## ▼ VIP Marketplace移行に伴う主な変更点

お客様への  
請求額

### 月割り→日割り計算

お客様の契約に対する請求は利用日数に対する日割り金額で計算されます。

更新手順

### 都度更新→自動更新

お客様の契約は契約応当日を起点に自動更新されます。

更新を希望しない場合は、既存のお取引先へご連絡ください。

※オペレーションは、パートナーによって異なる場合がございます。

## ▼ VIP Marketplace と VIPの比較表

	VIP Marketplace	VIP
請求額	日割り	月割り
追加ライセンスの請求額計	次回応当日までの日割り	次回応当日までの月割り
更新	自動更新	都度更新
更新対象期間	契約応当日	契約応当日の前後30日
コンソール追加後の猶予期間	7日間	14日間
対象セグメント	一般企業・官公庁・教育機関	一般企業・官公庁・教育機関
契約管理ツール	Admin Console	Admin Console
契約者情報の変更	お取引先の販売店へご依頼	Admin Console上でお客様で変更

お客様への  
お願い

- ・**新規のお客様**：購入希望の製品に関して、VIP Marketplaceでの購入可否を既存のお取引先へご確認ください。
- ・**既存のお客様**：VIP Marketplaceへの移行タイミングについて、既存のお取引先へご確認頂き、期日の2025年5月31日までに移行を完了してください。

\*1 教育機関および官公庁セグメントのVIP購入プログラムは2025年11月30日以降、提供を終了いたします。このプログラムに該当するお客様に関する、VIP購入プログラムの新規ID作成停止を含むプログラムサポート終了の詳細については、別途ご案内いたします。

詳しくはこちら ▶ <https://blog.adobe.com/jp/publish/2024/07/29/adobe-buying-program-update>

アドビ株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー  
www.adobe.com/jp/

このカタログに記載の情報は、2025年1月時点のものです。内容に関しては予告なく変更される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Adobe Audition, Adobe Animate, Adobe Bridge, Adobe Capture, Adobe Comp, Adobe Dimension, Adobe Fonts, Adobe Portfolio, Adobe Premiere Pro, Adobe Premiere Rush, Adobe Spark, Adobe XD, After Effects, Behance, Creative Cloud, the Creative Cloud logo, Creative Suite, Dreamweaver, Illustrator, InCopy, InDesign, Lightroom, Photoshop, Photoshop Fix, Photoshop Mix, and Prelude are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

© 2025 Adobe. All rights reserved. ASJST2035 01/25

**Adobe**